

SHOKEI



第463号

2008年(平成20年)
12月10日発行

[地域に密着したコミュニケーションの場作り]

尚綱学院大学が発信する、 コラボレート図書館計画

大学図書館建設に向けての挨拶/常務理事:上西義昭
大学新図書館について/図書館長:阿留多伎真人

子羊からの一通の手紙

中高教員/佐々木達也

教職員エッセイ

[梅の花]

〇懐かしの給食/中高事務職員 菊地圭司

卒業生コラム

はばたき

1997年 尚綱学院高等学校卒業
東北大学准教授・モンタナ大学兼任/橋由加さん

●情報掲示板/学校行事報告 ●特別寄付金・後援会・同窓会費納入者 ●同窓会コーナー

SHOKEI 463 2008 尚綱学院大学が発信する、コラボレート図書館計画

発行 尚綱学院後援会 〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町9-1 TEL:022-264-5872
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺3-5-18 フロンテビル2F TEL:022-295-0281(代)
定価 一冊送料共2,000円

募金事業のお願い

大学図書館建設 中高体育館の整備、
エラオー(解体した明治建築)の復元
を目的とする尚綱学院教育施設拡充
事業募金活動を開始しました。皆様
のお手元には既に募金趣意書並びにハン
ドレット等が届いていること存じま
す。大変厳しい経済情勢であります
是非ご協力下さいませようお願いいた
します。**10月末現在募金総額 8,035,000円**の寄付を頂戴いた
しました。皆様の理解と厚志に対し
紙面を借りてお礼申し上げます。
(法人事務局長 佐藤正人)

04年3月に卒業された 後援会会員の皆様へ

ご継続のお願い
尚綱学院の教育環境の整備、な
びにその発展に寄与するために発足
した後援会は、皆様のおかげでさま
ざまな支援を行って参りました。
皆様の在学中は、後援会保護者委
員としてご父母の皆様よりご後援
いただき、またご卒業時には卒業生
徒自身が1万円を納入して卒業生
会員としてご入会され、これまで5
年間のご支援をいただきましたが、
2009年3月をもって期間終了とな
り「尚綱誌」の発送が終了となります
なりません。
後援会では、引き続き後援会員と
して、母校をお支えいただきたく、
この度郵便振り込み用紙を同封さ
せていただきます。どうぞ年間
2,000円の会費をご納入下さい。
引き続き母校へのご支援を賜ります
ようお願い申し上げます。

Merry Christmas クリスマスのご案内

【中学校・高校】
中高では、今年も救い主の誕生を祝
う礼拝を行います。

在校生・同窓生や保護者をはじめと
する、一般の皆様のご合同礼拝を行います。

- 日 時 12月18日(木)
16時~17時30分
- 会場 15時30分
- 場所 イースティール21(大ホール)
- 内容 イエスの生涯
The King of Kings
(中高生保護者・同窓生・教員・
尚綱音楽教室による礼拝劇)
当日は出入り口にて自由献金が
あります。
- 問合せ 中・高事務室
0222-264-5830

大学・女子短期大学部

- 宗教学部と学生宗教委員会を中心に準備
を進めており、礼拝並びにクリスマス
音楽会を開催する予定です。佐藤淳一
先生の独唱「クリスマス・フェスティ
バル」の合唱、ハンドベルの演奏を予定
しております。多くの方々のご参加を
心よりお待ちしております。
- 日 時 12月16日(火)
開場 13時
- 場所 東北電力ホール
- 説教者 小林孝男(宗教主任)
- 「蘭」の提供たち(クリスマス!)
- 問合せ 大学総務課
0222-331-3300

おくやみ

謹んで
哀悼の意を
表します。



- 高橋昌子様(65歳)
(高校 昭和37年卒・旧姓 久道)
2月19日逝去されました。
- 大須賀ふみ子様(84歳)
(本科 昭和14年卒・旧姓 野田)
7月31日逝去されました。
- 松田晴雄様(87歳)
(大学副学長 表現文化学科教授
松田憲次郎殿(御尊父)
8月8日逝去されました。
- 手島ひさ子様(98歳)
(高等科家事科 昭和5年卒・旧姓 佐藤)
9月6日逝去されました。
- 竹中恵実様(44歳)
(学院長 六戸朗 殿(御息女)
9月7日逝去されました。
- 西留えい様(61歳)
(本科 昭和3年卒・高等科英文科
昭和6年卒・旧姓 阿部)
9月17日逝去されました。
- 佐藤直子様(61歳)
(高校 昭和41年卒)
9月25日逝去されました。
- 樋渡久子様(84歳)
(元中高教員)
9月26日逝去されました。
- 遠藤哲子様(74歳)
(高校 昭和27年卒・旧姓 千葉)
10月17日逝去されました。

リニューアルしました!

年6冊5回発送
5月 7月 9月 12月 2月
※9月のみ通常・入募集特集号同時発行

学校と保護者の皆様を、母校と同窓生を。生徒と保護者の皆様を。
もっと尚綱を通じてつながって欲しい。
そんな気持ちで出来ました!

この1冊で、尚綱学院の「いま」がよくわかります。

SHOKEI

尚綱誌購読のお願い
尚綱誌の購読を通じて間接的に
母校への支援が出来ますので、ご協力宜しくお願い致します。

- ①尚綱後援会にご入会いただくと、機関紙「尚綱」が年6冊5回発送されます。(会費は年額2,000円か、その倍額から受け付けています)
- ②購読ご希望の方は、下記にお振込みいただくか、もしくはお電話いただければ、こちらから専用振込用紙を郵送致します。
- ③継続購読ご希望の方は、2,000円以上ご入金いただくか、毎年尚綱誌2月号に後援会の専用振込用紙を同封致しますので、それをご利用下さい。
- ④ご芳名掲載を望まない方は、匿名希望と振り込み用紙の通信欄にご記入下さい。

郵便振込口座 No 02230-3-2116

お申し込み先 尚綱学院後援会 TEL.022-264-5872 FAX.022-264-5830
事務局 E-mail:koenkai@shokei.ed.jp

お詫び/461号p6の幼稚園のコーナーでお泊まり会の筆者は幼稚園教員 川田裕子の誤りでした。
p11の同窓会コーナー・八三会記事の中で8月11日(月)は8月2日(土)・5行目のズエル先生は、ズエル先生伝の誤りでした。お詫びして訂正致します。

編集委員 徒然日記

もう師走。慌しかつた1年が終わろうとしています。振り返ると今年も様々な事件がありました。北京オリンピックの華々しい舞台の影で、凄惨な事件、止まらないテロや戦争、食の偽装問題、医療制度や年金の問題、石油など相次ぐ値上げ、そして世界や日本各地で起きた地震や豪雨など天災の数々...そんな世知がない世の中ですが、クリスマスツリーやページのイルミネーションが傷ついた心を癒し、また希望を与えてくれるでしょう。読者の皆様には今年1年のご協力と応援を感謝いたしますとともに、来年もよい年でありますようお祈りいたします。今後もリニューアルした尚綱誌をよろしく願っています。(K.S)



地域に密着したコミュニケーションの場作り

誰でも利用でき、交流できる。 尚絅学院大学が発信する、 コラボレート図書館計画。



尚絅学院大学図書館(仮称)外観パース
本館から中庭を挟んだ西側で、学生会館の北側に位置する。周辺一帯は緑に囲まれ、「緑との調和」を目指し環境もよい。

より多くの学習活動を、
その思いが形に。

2009年1月、(仮称)尚絅学院大学図書館棟の新築工事が着工します。

ここ数年、図書館利用者は大幅に増加の傾向にありました。これは大学図書館の役割である「教育・研究活動の支援」という観点からは、非常に喜ばしいことです。しかし、現在の図書館規模では学生の自主的な学習活動の支援に限界があることから、昨年度より図書館建設委員会を発足して検討を進め、この度、晴れて着工となります。

**出合いと、交流。
つながりを作る図書館。
それがコンセプトです。**

新図書館は「尚絅の知のシンボル」となるアカデミックな雰囲気を持つと共に、既存の建物との調和を考慮し、シンプルで個性的なデザインの外観となります。

内部空間は、独自の空間クオリティ、3Cをコンセプトに設計しています。

最初のCは「Collaboration」。共同でディスカッションできる小部屋やグループ学習室など知の協働空間を演出しています。

次のCは「Communication」。友達との気軽な交流やリフレッシュできる空間として、ブラウジングコーナーやAVコーナーなどを4つの島(アイランド)に配置すると共に、展示特別展が可能なディスカバリラウンジで新たな知との出合いを提供します。

最後のCは「Concentration」。個人の学習レポート作成ができる閲覧席やより集中できる静寂な学習室を設けます。

それぞれのCがそれぞれ有機的な連携ができるよう配置し、大学図書館として学術活動のアクティビティを活性化、「知」を媒介としたアカデミックなコミュニケーションづくりを支援します。

また、絵本コーナーや中庭に面した閲覧席など地域住民の方も、気軽に利用、交流できるスペースを設けるなど、誰でもコラボレートできる図書館となる計画です。

新図書館は、2009年9月の開館予定です。

キーワードは 3C

Collaboration
コラボレーション
コラキューブという個室

Communication
コミュニケーション
空間を生かして交流できる閲覧室

Concentration
コンセントレーション
広い閲覧室や学習室

大学図書館建設

大学院を設置し、個性あふれる5つの学科へと発展した大学のキャンパスに、教育・研究の中心を担うにふさわしい図書館を建設します。

建設規模	2,337平方メートル 鉄筋コンクリート造2階建て 内部意匠は木造構造 閲覧室 200席 収容冊数 20万冊
利用者	学生・教職員他、市民の方々にも開放します。
工事計画	2009年1月着工 2009年8月竣工予定
建設事業費	6億円(内1億3千万円を募金目標とします)

大学新図書館について



図書館長 阿留多伎 眞人

「コラボレーション」「コミュニケーション」「コンセントレーション」を設計のテーマとして学生会館に隣接して建設される新図書館は、単なる本の集積や静かな学習の場ではなく、歴史を超えて集積された「知」と現代の「知」が衝突・融合し、新たな尚絅の「知」が生み出される動的な場所です。

2階にある入口を入ると卵型の通路に沿ってブラウジングスペースや絵本コーナー、グループ学習室、AVコーナー、雑誌スペースなどが配置されています。木製の階段を降りると1階には吹抜の広がる開架閲覧室や総合カウンター、レファレンス(参考図書)コーナー、ディスカバリラウンジ(多目的展示スペース)、閲覧席、学習室、周書架が並びます。エレベーターや身障者用トイレの設置などユニバーサルデザインにも配慮しました。省エネ面でも冷房負荷を減らす工夫をしております。

図書館スタッフ一同、尚絅の知のシンボルとなるよう工夫と努力を重ねてまいりる所存ですので、皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。なお、地域住民の皆様、学生・教職員の皆様には、工事中は騒音などご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力頂きますようお願い申し上げます。

大学図書館建設に向けての挨拶



常務理事 上西 義昭

大学の長年の夢のひとつであった図書館建設が、来年9月の開館に向け、来年1月に着工いたします。

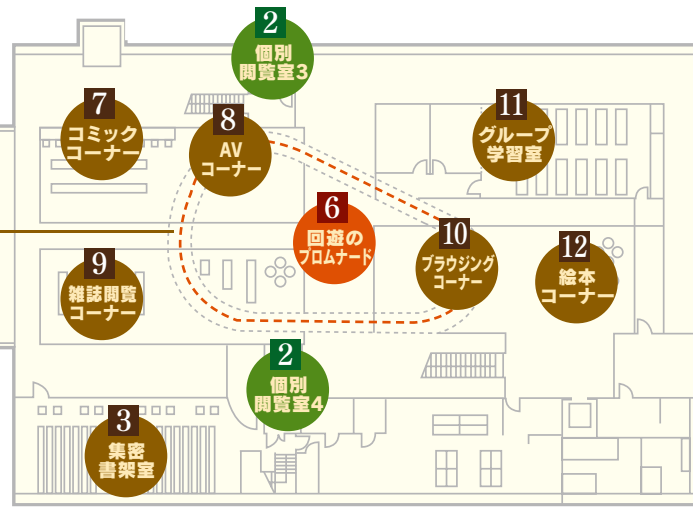
広さ約2400㎡、閲覧席200席、収容冊数20万冊の中小規模の図書館であるが、「知の協働空間」をコンセプトとし、周辺の緑を生かし、大学院を擁し、個性あふれる5つの学科をもつ大学のキャンパスに相応しい、新しい機能を兼ね備えた図書館を建設する。

学生が伸び伸びと学び、研究を深め、つながる人とコミュニケーションを交わらせる知的な出合いの場とし、地域にも開放された図書館となることを願っています。

総工費6億円を投じる計画で、その内1億3千万円を募金の目標としております。

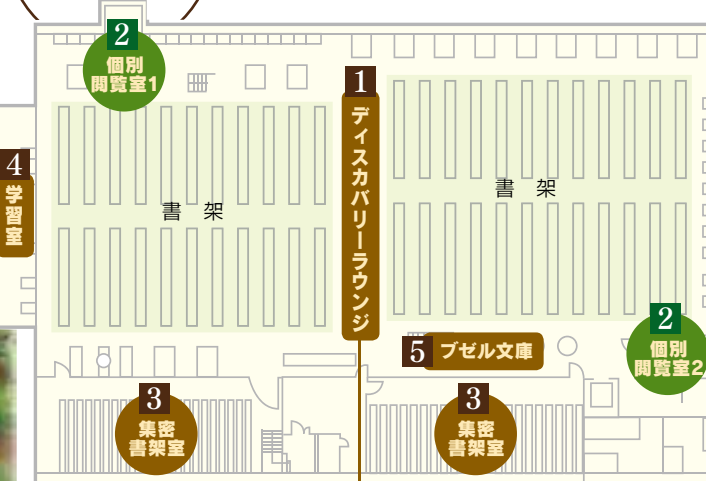
皆様のご協力を切に願っております。

2階フロア見取り図



12 子どもへの読み聞かせもできる、開放的な絵本コーナー。

1階フロア見取り図



3 集密書架室・移動式書架により、大量の蔵書を収納可能。

4 静かな場所で学習するための環境を用意。調べ物、自習などに。

5 尚絅学院の創設者ペゼル先生の資料を収めたスペース。近くの階段は「エラオー・パトリックホームの階段」を模したデザインになる。



6 エントランス、それぞれのブロック、コラキューブ(個別閲覧室)、テラス、EVを回遊するインナープロムナード(フランス語で「散歩」あるいは「散歩の場所」を意味する語)。

7 コミックを閲覧できるコーナー。

8 パソコンを各コーナーに点在させ、コーナーに合わせた利用を促す。

9 雑誌閲覧コーナー。学術系の雑誌を閲覧できる。

10 ブラウジングコーナー。新聞や一般の雑誌を閲覧できる。

11 授業や地域開放に活用できる学習室。



内観パース(2階部分)
ブラウジングコーナー、絵本コーナーから、雑誌閲覧コーナー、コミックコーナーへと回遊のプロムナードにて結びます。パース右側は吹き抜けになっており、2階から階下を見渡すことが出来ます。

ご協力よろしくお願いいたします 大学図書館建設募金要項

募金期間
2008年 6月1日~2009年 12月31日

寄付の方法
振込(払込)用紙を準備しております。必要事項をご記入の上、下記の銀行をご利用下さい。振込手数料は必要ございません(受取人負担)。

口座名 学校法人尚絅学院募金事務局
●ゆうちょ銀行(郵便局) 口座番号 02220-8-43433
●七十七銀行 長町支店 口座番号 普通預金 5744105

法人事務局募金事務局
募金についての連絡 電話…022-381-3334
問い合わせ先 mail…bokin@shokei.ac.jp



中高教員
佐々木達也

「神は彼らの目を見えなくし、その心をかたくなにされた。こうして、彼らは目で見ることなく、心で悟らず、立ち帰らない。わたしは彼らをいやさない。」
(ヨハネ12:40)

私は高校生の時、「生きる意味を求めて、幼いころに祖母に連れて行ってもらった教会に再び通い始めました。しかし、高校の世界史の授業で聞いた『予定説』の紋切り型の理解が邪魔をして、心から神を信じることを告白することはできないでいました。

印象は極めて強烈でした。それはちょうどルターが「聖書から語りかける声」と呼び、他のキリスト者が「内なる声」と呼んだものかもしれない。

大学1年の春休み、習いたての中国語を試してみようと、4週間ほど中国を旅行しました。荷物を軽くするため、本は新約聖書1冊だけにしました。南京のホテルで聖書を読んでいた時、冒頭の聖句が私の心に強い一撃を加えたのです。これはイザヤ書6章9・10節の引用で、どの共観福音書にも引用されているものです。つまり、私は3つの福音書を読んだ時には素通りしていたのを、ヨハネにきて初めて気づかされたというわけです。

私は、聞いても聞こうとしていなかった自分に気づき、自分の罪深さに衝撃を受けました。こうして帰国した直後、牧師に受洗希望を申し上げイースターに洗礼を受けたわけです。「あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ」(マタイ16章17節)と確信しています。

今の自分と周囲の状況を見ると、「見ても見ず、聞いても聞かず、悔い改めることがない」ことは現実になくありません。全てを神が導かれることを信じます。



教職員エッセイ

梅の花

Vol.4

中高事務職員 菊地 圭司

懐かしの給食

鯨肉に甘い揚げパン汁に入れたソフト麺。今も懐かしく、ご馳走のあの味。

私がこの上なく楽しみにしていた給食の思い出についてお話をさせていただきますがこの内容に全く興味の無い方はご勘弁下さい。もし少しでも共感懐かしんで頂けるのでしたら幸いです。

まず保育所まで通りますが、給食というより、お昼のおかずの時折出された鯨肉の竜田揚げ、お昼寝の後に頻りに出された暖かい「コリア最高」でした。それも食器は全てアルミ製(古)。

次に小学校時代、もし人気のおかずや牛乳(今ではパック牛乳が主ですが、中学まで頑なに瓶でした)、デザート等が余ったら、先着順、希望者多数の場合はじゃんけんで決めていました。我先ばかりとの猛者揃いでしたので(自分もその一人)、早食い競争でタイムを競うのが常でした。揚げパ

ン、鳥の竜田揚げ(揚げ物ばかり)、ソフト麺(汁ものに入れて食べました。皆さんの学校でも出ましたか?)、定番のカレーライス、嗚呼あの時代に戻りたい。

米飯給食は確か高学年の頃だったでしょうか。先生が均等に寄り分けてくれました(個々の容器ではなく大きな御櫃にご飯が入っていました。さすがにこの頃は脱アルミ製食器)。

他きりがないので中学校へと移ります。給食はそのままで、土曜日はお弁当に。ただなぜか牛乳だけは出ました。その時出された入ると「ヒール味になるミルク」なる粒状の代物には感動しました。以上、とりとめのない事ばかりで恐縮です。柔道の石井慧選手の言葉ではないですが、「給食最高」。ありがとうございます。



卒業生コラム

はばたき 第4回

橘 由加さん

1979年 尚綱学院高等学校卒業
東北大学准教授・モンタナ大学兼任



23才の時に、初めてアメリカのノースカロライナ州の大学に留学する。その後、カリフォルニア州立大学ドミンゲス校修士課程終了。モンタナ大学にて、教鞭をとる。東北大学言語情報学博士課程終了。後に、東北大学高等教育開発推進センター勤務。



Yuka Tachibana

この仕事を選んだきっかけは?

きっかけは、アメリカ力大大学院に留学して学位を修得した時に、大学教員の道を考え始めました。総合大学という学術研究施設の中で、自分のリサーチしてきた事柄を、授業で学生達や生涯学習大学などの成人に指導していきたいと思っただけです。大学では教員をしながら研究も続けていけるのが魅力です。

仕事上の印象的なエピソードは?

モンタナ大学というところで15年日本語教育に携わってきました。日本語専攻の学生は2年勉強してから、日本の大学に留学を希望するので、2年以内に中級レベルの日本語力にさせなければならぬので、毎日最低でも2、3時間の宿題、週に最低でも2、3回のクイズ等で行きますが、学生の真剣さには毎日圧倒されました。

尚綱時代の思い出

やはり佐藤真理先生の2年生の時の英語の授業が一番の思い出です。授業で受験英語の対策問題について指導を受けましたが、今でもあの授業は印象に残っています。

一度の人生を、
思う存分生きる。
最後には起き
上がる生き方を、
そう思います。

ています。受験英語対策と真理先生の人生についての雑談話、この対照的な2つのコンヒネーションの授業はとても思い出深いです。まだ16歳ぐらいの小娘でしたが、おそらく授業をとおして、佐藤真理先生という人格に興味をひかれたのだと思います。

夢を追う尚綱生に
アドバイスを

人生は1回きりしかないのだから、ゴール、夢を持って思う存



分生きる。これが私のモットーです。つまり目標を決めたのなら、そこに到達できるように作戦を練って行動に移す。勉強や仕事を強や仕事に強にするように作戦を練って行動に移す。勉強や仕事を強や仕事に強にするように作戦を練って行動に移す。

TIME SCHEDULE ある日の橘由加さんを追う!

- 5:30 起床
- 6:00 朝食、メールチェック、日本とのウェブ会議
- 9:00 大学へ出勤
- 10:00 授業開始
- 13:00 昼食
- 14:00 授業、アドバイジング
- 15:00 会議、研究
- 17:00 シムでエクササイズ
- 19:00 帰宅
- 20:00 夕食
- 21:00 ニュースを見る、読書
- 00:00 就寝

情報掲示板

吐く息も真っ白になり、冬の訪れを感じるこの頃。この秋校内では運動会や、文化祭などの行事でにぎわいました。スポーツに芸術にと、沢山の思い出を振り返り、新しい年を感謝と供に迎えたいですね。

法人事務局

建学の精神研修会

8月11日(月)第2回目となる「建学の精神研修会」が開催されました。主題講演として六戸学院長より「現代に建学の精神はこう生かされているか」と題したお話がありました。私立学校教育の根幹を成すものとして定められる建学の精神の具現化のため、本学院の各学校が取り組んでいる、礼拝やその他のキリスト教行事といった宗教活動の現状や課題等について具体的にお話しいただきました。

第2部では東北学院大学名誉教授、浅見定雄氏を招いて「カルト宗教の信者学生及び生徒にどう対処すればよいのか」と題して講演いただきました。カルト宗教の現状を事例に基つきお話しいただいた興味深いものでした。
(企画調整課 阿部祐介)



創立記念礼拝

北国から初雪のたよりが届き、吐く息がだいぶ白く感じられる11月7日(金)の夕刻、各取校舎の学生会館において小林孝男宗主任司式のもと、166回目の創立記念教職員礼拝が厳かに執り行われました。創立記念礼拝では、佐藤信義校長が希望の教育と題する講演を行い、尚綱に学ぶ学生、生徒、園児らにキリスト教教育を述べ伝えることの意義と、隣人を愛し他者の中に生きることの大切さを述べられました。また、我々は神に用いられ生きること、そう願う生きることが重要であること結びの言葉で述べられました。(企画調整課 今田和人)



永年勤続者表彰式

今年度は、40年1名、30年1名、20年4名、10年5名、計11名の方々が表彰され、加藤正名理事長より表彰状と記念品が贈られました。



その後、隣室に会場を移しての茶話会では、佐々木公明学長の乾杯のご発声を合図に、テーブルを囲んでの歓談の時間を得ました。表彰された方々のスピーチでは、各々が興味深いエピソードを披露され会場の笑いを誘いました。会は終始和やかな雰囲気で行われ、六戸朗大学院長の閉会の言葉をもち、盛況のうちに閉じられました。
(企画調整課 今田和人)

- 今年度、永年勤続表彰を受けられたのは以下の方々です。(敬称略)
- 40年勤続者**
梅津義宣(大学教員)
- 30年勤続者**
石田一彦(大学教員)
- 20年勤続者**
會澤まりえ(大学教員)
桂重樹(大学教員)
大沼良彰(中高教員)
長田可奈(中高教員)
- 10年勤続者**
今野暁子(大学教員)
田島裕之(大学教員)
馬場たまき(大学教員)
安井猛(大学教員)
Richard Paul Mees(中高教員)

幼稚園

青空のした元気がいっぱいに頑張りました

プレイフェスティバル

台風で天候が心配された9月20日(土)、空は晴れたり元気がいっぱい、プレイフェスティバルが開催されました。

プログラムのトップは年長組の跳び箱、鉄棒、縄跳びの大技でした。つづくとたんぼ組のかっこいい新幹線、ちゅうりつ組のかわいいうすく連、そしてすみれ組のあどけないながらも全力でプレイする姿に思わず笑顔がこぼれました。ラストの年長組のダンスとリレー



は子どもたちが力を合わせて最後まで頑張りました。私もつい、涙がでて、「がんばれ。」の声も震えてしまいました。
たくさんのパワーをくれた子どもたちに感謝します。
(ゆり組保護者 尾方理恵)

みんなで作った楽しい1日 ハッピーランド

10月18日



(土)、爽やかな秋晴れの下、保護者や、地域の方とふれあいを目的に行われました。年少組は手作りの金魚すくい、水ヨーヨーなどで未就園児をおもてなし、年中組は歌や手遊び、ダンスで盛り上げてくれ、年長組は、お父さんたちと関わりながらアウトドアアクティヴで腕を振るってくれました。年少さんは、してもらっていた側からしてあげる側として、年中さんはクッキングに忙しい年長さんの分もカバーするホスト役として、年長さんはみんなを招待するという意識を持ち、はつらつとした表情からは満足感が感じ取れました。内容を決める段階から役割分担、本番に至る準備まで子どもたちが軸となって、みんなで創り上げた感ハッピーランドのハッピーランドとなり、達成までのプロセスを大切にすると尚綱幼稚園らしさを感じました。当日参加した皆がハッピーになった1日でした。
(はら組保護者 木村さおり)

幼稚園

今回もお祝いしました！

幼稚園では、お誕生会のお祝いとして、クリスマスに毎月おやつ作りをしています。メニューはクリスマスで意見を出し合い決定していきます。

初めは、プリンやゼリーの簡単なメニューからスタートすることが多いのですが、経験を重ねていくと、パン、肉まん、ラーメンなどへとレベルアップしていきます。また、アウトドアクッキングも楽しめるようになってきています。

おいしいものを食べるうれしさはもちろんですが、メニューの決定、お料理の過程共に子どもたちにとってはワクワクする楽しい活動になっています。幼稚園教員 坂本由佳里



その他の行事報告

(幼稚園で行われたその他の行事です)



収穫感謝礼拝
11月7日(金)

中学校

校外学習

今年の校外学習(10月15日(水)~17日(金))は、アイヌの学習、三浦綾子記念館、旭山動物園、札幌交通公園、自主研修、開拓村など、盛りだくさんな3泊3日の旅でした。どの見学地も、皆真剣に話を聞き、アイヌの体験学習も積極的に参加する事が出来ました。

学んだ事は、アイヌの伝統的な口承文芸や踊り、開拓に伴って制圧されたアイヌの歴史、それと対極に、開拓についての話、クリスチャンである三浦綾子の作品の内容などで、私たちはこれらの事を「校外学習報告会」にむけてまとめる作業に取り組んでいます。

北海道は、みんなで行ける最後の校外学習なので、たくさん笑ったの思い出を作る事が出来ました。グループでの活動、全体での活動、お互いに楽しさを共有しあう喜び、思いやりを持ちながらの3泊3日の生活は、一層絆を深めあう事が出来ました。

そして、一番感動したのは、10分前行動の達成率がほぼ100パーセントだったことです。この1年でこれだけ成長できたことで、3年生としての自覚が出来てきたことを感じました。
(3A 高橋清彩)



その他の行事報告

(中学校で行われたその他の行事です)



イングリッシュキャンプ
8月21日(木)~22日(金)



フィールドワーク(1年)
10月15日(水)~17日(金)



生徒総会
10月31日(金)



天文台見学(1年)
10月29日(水)

高等学校

協力し合いながら成功しました！

8月29日(金)~30日(土)に行われた尚綱祭は、前日雨という予報でしたが、みんなの願いが叶い、共学最初の文化祭を晴れの中で幕を開けることができました。

全校生が参加でき、それぞれの個性が光る文化祭をつくる事を目標に、今年のテーマは、「百花繚乱〜夢にときめけ、明日にきらめけ〜」にしました。また今年度は文芸STAFFが6人と、いつもより少ない状況でしたが文芸STAFFも各々協力し合いながら様々な案や意見をたくさん出し、文化祭を企画運営していきました。

夏休み前からクラスごとにTシャツを作ったり、駄菓子販売やカフェ、ダンス、お化け屋敷、バンド発表、ソーラン節など企画の準備をしてきました。文化祭当日、完成したものをお客さんが喜んでくれ、実際に自分たちの目で見ると十分に発揮したと感ずることができたからこゝろ、当日は

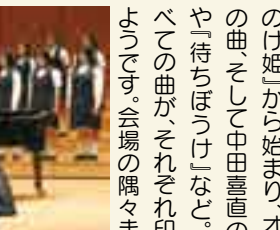


り、心に響く演奏だけでなく、生きるというこゝろを語ってくださいました。心が動く、お話を演奏しました。
(中高教員 鈴木優子)

芸術鑑賞祭

素晴らしい歌声をありがとうございました！

9月5日(金)青年文化センターでカウンスターテール「米良美一コンサート」が2回(生徒対象とPTA、同窓生対象)開催されました。コンサートは中高合唱団と3年の組、聖三「学院小学校によるトーンチャイム」そしてウァイオリンとの共演の「ものけ姫」から始まり、オペラやサティの曲、そして中田喜直の「かびり」や「待ちぼうけ」など、生徒たちはすべて曲が、それぞれ印象深く残ったようです。会場の隅々まで言葉が伝わ



り、心に響く演奏だけでなく、生きるというこゝろを語ってくださいました。心が動く、お話を演奏しました。
(中高教員 鈴木優子)

情報掲示板

心に響くお話を頂きました

後期キリスト教週間

中高では、収穫感謝礼拝、施設訪問、キリスト教講演会が行われました。高校の講演会では、日本国際飢餓対策機構(JIRC)の神田英輔氏を迎え、「共に生きるって素晴らしい」と題して、講演を伺いました。主イエスの言葉をテキストに、関係性の欠如が食料問題の原因であり、信仰希望、愛を大切にする生活の大切さが改めて示されました。中学校では、インドでマザーテレサと共に奉仕活動された経験がある佐々木信夫氏を迎え、講演をして頂きました。「死を待つ家」でされた奉仕についてなど、先生が実際に体験した貴重なお話を聞くことができました。「傷つくほどに愛しなさい」と語りかけるマザーの言葉と愛をこめたい行いが生徒の心に深く刻まれました。(中高宗教主任 佐藤洋晴)



素晴らしい経験となった1週間

ドイツシユタール短期留学生受入

10月18日(土)〜25日(土)、ドイツシユタール市のヴァインセントヒルベックギムナジウムより15名の生徒たちが短期留学プログラムで来日しました。茶道や書道といった日本文化を体験し、1週間尚絅生の家庭にホームステイをする中で、言葉を超えた国際交流の時間を持つことができました。

今回のドイツ短期留学の受入れをするのは、私と家族にとって初めての体験でしたが、大変充実した1週間となりました。私は留学生と早く仲良くなるために、また留学生と家族が打ち解けるためにいつも辞書やドイツ語の本を片手に出来るだけ正確に伝え、相手の言葉をよく聞くように努力しました。留学生も私のつたない英語を一生懸命理解しようとしてくれました。

私は期間中留学生が困っていないか、楽しんでるか、いつも留学生のことを気にかけていました。生まれてきて16年間、こんなに人のことを自分よりも大切に思うことはなかったと思います。共に生きるこの大切さを実感できた素晴らしい経験でした。

最後にプログラムに関わった先生方、協力してくれた家族や友達に心から感謝しています。このドイツ短期留学での出会いを大切に、今度は私がドイツに行きたいと思っています。(高校2年 渋谷恵和)



その他の行事報告

(高校で行われたその他の行事です)



運動会 10月16日(木)



高校生徒総会 10月31日(金)



地域のお年寄りとの交流会 11月3日(月)

受賞入賞のお知らせ

●中学・バスケットボール部
仙台市中学校新人大会青葉区Bブロック 優勝

●高校合唱部
全日本合唱コンクール宮城県大会 銀賞(東北大会出場) 同 東北大会 銅賞



●陸上部

第57回宮城県高校新人陸上競技大会
走高跳 2位 平野未来
(東北大会8位)
走幅跳 6位 相澤 穂菜美

●水泳部

宮城県民体育大会水泳競技
100m自由形 優勝 飯田早希
100m平泳ぎ 2位 遠藤世菜
200m平泳ぎ 2位 遠藤世菜

●バレー部

平成20年度第18回東北私立高等学校男女バレーボール選手権大会兼第13回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会予選会(3年連続全国大会出場)



●ソフトボール部

県新人ソフトボール大会ベスト8 (東北私学選抜大会出場)
東北私学選抜大会
刈山形学院
(山形第1代表 0対3)
対尚志高校
(福島第3代表 0対6)
4位トーナメント
対鶴岡東
(山形第3代表 9対3)



最終講義のご案内

皆様のご参加をお待ちしております。

●保育科 村山雅夫先生

昭和55年より旧英文科で英語の教育に奉職し、昨年から保育科スタッフとして大きな動きをされました先生の最終講義です。

●日時 09年2月9日(月) 13時半より

●場所 尚絅学院大学5A講義室 終了後、学生会館にて茶話会を行います。

●テーマ 「英語と私と野球」
●問合せ 022-3381-3309 (齋藤研究室)

●人間心理学科 加藤孝義先生
03年より本学において、人間心理学教授として大学院の総合人間科学研究心理学専攻の創設に尽力下さり、大学院の基礎を築いて下さった先生の最終講義です。

●日時 09年2月16日(月) 16時より

●場所 尚絅学院大学(教室未定)

●テーマ 「21世紀の新しい人間像」
●問合せ 022-3381-3419 (水田研究室)

●健康栄養学科 薄木理一郎先生

道岡攻先生
長年にわたる、本学の教育研究にご貢献下さいました両先生の最終講義です。終了後、別室にて茶話会を予定しております。

●日時 09年2月20日(金) 13時より

●場所 尚絅学院大学5A講義室

●問合せ 022-3381-3345 (鈴木研究室)

ホームカミングデー

懐かしい校舎に多くの同窓生が集い、楽しいひと時を過ごした



9月6日(土)、同窓生約50名、旧職員8名、教職員8名の参加を得て、盛大に第5回目「ホームカミングデー」が行われました。

第1部は、「礼拝」で、中学校メンバーによる賛美、同窓生で教員の齋藤直美先生のメッセージのもと、楽しい雰囲気の中で礼拝が守られ、第2部では、初めての試みとして中高が進めている教育改革についての説明の機会を持ちました。特に来年度から始まる新たな中高、貴教育について説明をしました。ぜひ中高を盛りだてて頂ければと願います。

第3部では、石川亜紀先生の司会の下で、同窓生同士や教職員との懇談の時間を過ごしました。どのテーブルも懐かしい中高時代の話で盛り上がり、また、旧職員の先生方からのメッセージや紹介もあり、和やかな雰囲気でお話が進められました。(実行委員会 齋藤公夫)

大学・短期大学

晴天の中大成功に終わりました

尚志祭

今年度は「尚絅らしさをつくる」という、大きな目標を掲げスタートしました。これが尚絅学院大学なのだ、素晴らしい学校だ、と思われたい、素晴らしい学校だ、と思われたい、実行委員一丸となり活動してきました。



(白)の2日間晴天に恵まれ、約2500人ものお客様にいらしていただき、とても賑やかな尚志祭になったと思います。多くの学生が参加した出店や、学科の催しももあり、尚絅学院大学の素晴らしい姿を多くの方々に知っていただけ、私たちの掲げた目標が達成出来たのではないかと感じています。ですが、この目標は今年だけではなく、来年も引き継いでいきたいです。進化していく尚絅学院大学を、今後も尚志祭を通して伝えていければと思います。



また、多くの人に支えられこの尚志祭は成功しました。私たち実行委員だけでなく、様々な面からご支援いただき出来ました。今回今まで特に気に留めていなかった多くの優しさに触れ、1つのものをみんなで作る喜びと感動を味わうことができてとても感謝しています。

子供から大人までの多くの笑顔が溢れた2日間はかけがえのないものになりました。本当にありがとうございました。(尚志祭実行委員長 人間心理学科 嶋山美穂)

連携して街をプロデュース！
メディアフェスタ・フレイイベント
第1回尚絅メディアフェスタ・フレイイベント「サラダボウル魂」4号館3

階の真実、が尚志祭の中で開催されました。

尚絅メディアフェスタとは、行政と地域(住民)と大学が連携して実施する表現文化学科発の街の人々との地域共生型総合文化イベント。学生たちの視点で街を観察し、様々な表現活動から魅力的にプロデュースしていくというものです。

初年度の来年は白石市と手を取り合い、市の中心部にある旧家・壽丸(すまろ)屋敷を主会場に開催される予定です。

「サラダボウル魂」はいわばその前哨戦。学生たちがプラン立案から製作物のデザイン、ネーミング、出演、広報、運営まで一貫してプロデュースに携わりました。白石の孫太郎を可愛くキャ



(たてかべ和也・矢口あさみ) 報、運営としてプロデュースに携わりました。白石の孫太郎を可愛くキャ

ラクター化したクレイパニアや巨大孫太郎の操演パレードなどは広報活動にも一役買いました。他にもオレレッタ、朗読劇、ドキュメント映像、新聞発行、DJアナウンスなど「表現文化学科らしさ」を自ら考えた内容で、来場の方からも好評でした。

プレゼンテーションから実施まで長期戦。大多数の学生が夏休み返上状態で臨み良い試金石となりました。(表現文化学科 大野美)

情報掲示板

ポランティア活動に注目 名取市との教育・児童福祉連携協力の 覚書締結

今年度、本学は名取市との間に教育・児童福祉の充実等に向けた連携協力に関する覚書を締結いたしました。7月16日(水)には名取市役所において、佐々木一十郎名取市長と佐々木公明本学学長による調印式が行われました。連携事業としては、児童生徒の学校生活の支援に関する、児童センター及び放課後児童クラブの支援に関する、保育所の支援に関する、大学及び学校における教育研究面での協力に関することと多岐にわたっており、これにより今まで以上に名取市と本学の教育・児童福祉分野における連携協力が深まることと期待されます。



具体的には、名取市立小・中学校、保育所、児童センターなどからの活動要請に対して、本学の学生をボランティアとして派遣する。

この事業が展開してまいります。ボランティア活動を希望する学生は、事前にボランティア学習会を受講し、登録する必要があります。早速、夏休み前にボランティア学習会を実施し、32名の学生が登録いたしました。今後も、ボランティア学習会や名取市からの活動要請の内容説明会などを実施し、学生が積極的にボランティア活動に参加できる体制作りを進めてまいります。

当校卒業生の柳川さんが活躍！ デフバレーボール 世界選手権大会で 準優勝

生活創造学科を、06年度に卒業した柳川奈美子さん(株)日立東日本ソリューションズが、8月1日(金)〜10日(日)にアルゼンチンで開催された第1回デフ(聴覚障害者)バレーボール世界選手権に日本代表として参加し、みごと準優勝に輝きました。さらに、全日本チームのリレプロプレーヤーである柳川さんは、参加選手の中で最高のレシーバーに贈られるベストレシーバー賞を受賞しましたので同窓生の皆様にお知らせ致します。



柳川奈美子さんより
私は初めてデフ日本代表として大会に参加し、予選で5ヶ国と対戦し2位で決勝トーナメントに進出しました。順調に勝ち進みましたが決勝戦は予選1位のウクライナとの対戦になり高いブロックに苦しめられストレートで敗れてしまいました。デフ日本代表として初めて銀メダルを獲得出来たのは嬉しかったのですが、ウクライナに勝ち優勝したかったです。

ノートテーカーの協力を得て一生懸命授業に取り組んでいたこと、部活では審判の笛が聞こえない、仲間の声がかかわらず聴覚以外の四感を研ぎ澄まし必死にボールを追いかけていたことが思い出されます。短大2年の時から全日本のメンバーとして全国各地で合宿をされていましたが、その努力が世界選手権での準優勝という成果に結びつき本当に良かったと思います。台北で開催されるデフリンピックも間近にせまり、仕事との両立は大変厳しいと思いますが、持ち前の負けん気と人一倍の努力で頑張ってくださいと願っております。

ノートテーカーの協力を得て一生懸命授業に取り組んでいたこと、部活では審判の笛が聞こえない、仲間の声がかかわらず聴覚以外の四感を研ぎ澄まし必死にボールを追いかけていたことが思い出されます。短大2年の時から全日本のメンバーとして全国各地で合宿をされていましたが、その努力が世界選手権での準優勝という成果に結びつき本当に良かったと思います。台北で開催されるデフリンピックも間近にせまり、仕事との両立は大変厳しいと思いますが、持ち前の負けん気と人一倍の努力で頑張ってくださいと願っております。

平成20年度東北地区 大学体育大会結果報告

- 男子バスケトボール部
6月28日(土)〜30日(月)
青森県武道館
1回戦 尚綱 60-88 盛岡大学
- 男子バドミントン部
6月21日(土)〜22日(日)
東北文化学園大学体育館
1回戦 尚綱 2-3 北里大学
- 女子バドミントン部
6月21日(土)〜22日(日)
東北文化学園大学体育館
1回戦 尚綱 1-3 盛岡大学

ご案内

- 第15回大学管弦楽団定期演奏会
本学非常勤講師でもあり、仙台フィルハーモニー管弦楽団ヴァイオリニスト奏者の木越直彦氏をお迎えして演奏いたします。
- 日時 12月21日(日)14時開演
- 場所 仙台市青年文化センターコンサートホール
- 曲目
組曲「カルメン」より「セーヴァイオリン協奏曲第3番

- ／モーツァルト
交響曲第5番「運命」
／ベートーヴェン
- 入場料 全席自由 5,000円
- 問合せ 022-338-13416 (保守科副手室)

- 第15回保育科舞踊発表会
保育科1・2年生の授業の発表会で、学生サークルも踊り出演します。
- 日時 12月13日(土)10時開演
- 場所 尚綱学院大学多目的ホール
- 内容 着物姿で「秋田音頭」「西馬内盆踊り」「黒石盆唄」などの日本民俗舞踊。
- 外国のフォークダンスの披露
- 入場料 無料
- 問合せ 022-338-13416 (安藤研究室)

- 第26回保育科卒業演奏会
一度は目にしたことがあるであろう、オハラ(合)の曲や、誰もが知っている民謡を仙台フィルハーモニーとの協演でお届けします。
- 日時 09年2月26日(木)19時開演
- 場所 仙台市青年文化センターコンサートホール
- 曲目
「奏音楽コーズ制作ステーション」
女声合唱組曲「水のいのち」
「千の風になつて」(瑠璃色の地球他)
カルメンより「行進曲」
- 入場料 全席自由 1,000円
- 問合せ 022-338-13416 (保育科副手室)

皆様の尚綱学院に対するご芳心に心より感謝申し上げます。

特別寄付金

- チャペル献金として
金六、二八円(1回目)
金一〇、〇〇〇円(2回目)
- 金三、三三三円 小林孝男様
- 金六、二七六円 同窓会総会
- 金五、〇〇〇円 斎藤綾子様
- 金二、〇〇〇円 関西支部
- 金五、〇〇〇円 高橋珠子様
- 金一、〇三七円 上西義昭様
- 金五、四三三円 大学事務室様
- エラオー基金として
金六、一七六五円 同窓会総会
- 金五、〇〇〇円 佐々木千春様 小野寺正美様
- 金五、〇〇〇円 寺田佐恵子様
- 同窓会寄付として
金一、〇五〇円 尚綱教会様
- 金三、〇〇〇円 鶴間順子様
- 金五〇、〇〇〇円 OG合唱団様
- 金一〇〇、〇〇〇円 厚生部様

後援会会費納入者(敬称略)

- 金五〇、〇〇〇円 赤澤昭三
- 金一〇、〇〇〇円 菅野明子 佐久間新一 二瓶和子 酒井なおみ 大泉俊美 佐藤佳奈子
- 金五〇、〇〇〇円 福田弘子 東海林茂子 六戸慶子 太田喜一郎 小野昌子 森千恵子 寺田佐恵子 呂美風
- 金四〇、〇〇〇円 小野寺正美 千葉由紀子 壹岐啓子 安倍良子
- 金三〇、〇〇〇円 菅野孝子 齋藤嘉子 佐藤道子 渡辺幸子

金二〇、〇〇〇円

- 加藤千紗音 今井敦子 岩淵礼子 木幡和子 石川満子 佐藤幸子 斎洋子 島岡寿 大友芳子 佐藤昭 青木久美 本堂富貴子 柴田智恵子 福土淑恵 門間恵美子 大槻恵子 佐竹悦子 鈴木和子 長野百恵子 岡部和嘉子 阿部あつ子 小西道子 杉本登代子 松原直子 鈴木清美 戸田留美子 三浦康子 大内よし 中目ひろ子 吉田かおり 渡邊怜子 沼倉久枝 阿部瑞子 菅原眞美子 遠藤ひろ江 朝長スミエ 井口美恵 小松寿子 佐藤信子 横山たか子 高橋真子 萩前信子 横山たか子 木村淳子 勝又綱子 阿部雄子 深田雪子 高見紀子 山田明子 長谷田美那子 柳澤静子 渡部美穂 佐々木尚子 三浦良子 熊谷豊子 千田智恵 丹野英機 菊地和子 佐藤道代 金森大樹 下坂静江 望月球美子 三浦祐治 押水雅那子 吉田恵 星徳子 大黒邦子 林桂子 上西則子 加藤瑛子 高澤喜一 小林悠子 富田利恵 小林澄子 後藤たき 小林水子 森田由紀 斎藤幸子 水戸久美子 加藤とみよ 今野初枝 鯉淵芳子 江久子 佐藤景子 伊勢とよ子 氏家道子 中島玲子 櫻井みさ子 平間佐喜子 加藤雅子 伊藤泰子 奈良耀子 伊藤裕子 竹下信子 佐々木ケイ 山下洋美 芝原セツ子 田中かおり 坂本朋子 川上千華子 山福利子 高橋克子 水上佳子 大橋美智子 蟹澤詔子 吉田朋子 祖川かつ子 播磨節子 市川喜巳 湊真澄 林純子 浅野京子 杉本登代子 大泉美佐子 鈴木美津江 川村友子 馬場ゆふ子 添田紀子 和泉悦子 千葉幸子 後藤洋子 千葉由美子 佐々木淑子

金二〇、〇〇〇円

- 只野節子 島山久子 米津由美子 川井公子 高橋雅子 萩野みどり 菊地洋子 北村淑子 吉岡八重子 木島桂子 岡下てる子 熊野圭子 松村勝代 佐々木純子 金子かつ子 高木不二子 小野樹子 三明靖子 渡辺美津子 鎌田三千子 西條玲子 宇佐美真由美 村田陽子 三浦律子 井上ゆかり 小竹みどり 亀崎美苗 太田たえ子 渡邊恵理子 宮腰文子 佐藤純子 昆野牧恵 柴田敏子 佐藤美恵子 粕谷志津子 佐藤徳子 内谷典子 大久保桂子 文屋百合子 渡部尚美 太田トモ子 森恵美子 山内京子 加藤房枝

特別会員

- 金五〇、〇〇〇円 六戸慶子
- 金二〇、〇〇〇円 佐藤昭

正会員

- 金一〇、〇〇〇円 末水いづみ 坂本由佳里 小野寺まり子
- 金五、〇〇〇円 小野昌子 二瓶和子 森千恵子 呂美風
- 金三〇、〇〇〇円 遠藤直子 押水雅那子 上西則子 井口美恵 齋藤嘉子 伊藤愛子
- 金二〇、〇〇〇円 木幡和子 今井敦子 大友芳子 石川満子 佐藤幸子 斎洋子 福田弘子 堀米伯江 阿部あつ子 福土淑恵 本堂富貴子 國枝奈保子 門間恵美子 大槻恵子 武内玲子 岡部和嘉子 島岡寿 東海林茂子 佐竹悦子 長野百恵子 小西道子 松原直子 鈴木清美 戸田留美子 大内よし 小野すゑの 中目ひろ子

同窓会 コーナー

中・高合唱団 50周年記念コンサート

去る10月12日(日)、高校礼拝堂に於いてOG合唱団主催によるコンサートを開催しました。晴天に恵まれ会場には全国から合唱部OG、同窓生一般のお客様が大量ご来場になり大盛況に終了しました。50年の大きな節目に初代顧問の高藤弘先生の指揮でOGと現役の合唱団が、クラフソングで開演!!年代を越えて共に懐かしい礼拝堂で歌えた喜びは感激と感謝に尽きました。



参加した全団員がまた一つ共通する大きな思い出を胸に解散しました。余韻を残したまま... (OG合唱団 岩山恭子)

表彰おめでとう ございます!

山形支部の沢村國子さん(昭34年家政科卒)が栄養指導業務の功績を認められ山形県知事賞、厚生労働大臣よりの表彰を重ねて授与されました。